

事業所名 わくわくbloom千城台

支援プログラム (参考様式)

作成日 2025年 3月 1日

法人(事業所)理念		『子どもたちのミライをあきらめない』～すべての子どもが自分らしく、生命いっぱい花開くミライを目指して～							
支援方針		<p>「わくわくbloom」は、子どもたちが自分の力で未来を切り開けるよう、以下の3つの柱を軸に支援を行います。</p> <p>① 身体発達トレーニング - 科学的に裏付けられた運動メソッドやビジョントレーニングとの組み合わせで、身体の発達を促進します。</p> <p>② 認知発達トレーニング - 発達段階に応じた教材やオーダーメイドの支援を通じて、学習能力・日常生活のスキル・社会性・コミュニケーション能力等の向上を促進します。</p> <p>③ 行動・社会性トレーニング - SST (ソーシャルスキルトレーニング) やABA (応用行動分析) を活用し、対人関係スキルを育てます。</p> <p>私たちは、子どもたちの「今」だけでなく、「未来」を見据えた支援を行います。</p> <p>「わくわくbloom」を通じて、子どもたちが 自信を持ち、わくわくしながら未来に向かって花咲いてゆくことを目指します。</p>							
営業時間		平日	11時	00分	20時	00分	送迎実施の有無	あり	なし
		土・祝・休校日	8時	30分	17時	30分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>①健康状態の確認 ②生活のリズムや生活習慣を良好に保つ ③基本的な生活スキルの獲得 (食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等基本的技能の獲得) ④生活におけるマネジメントスキルの育成 (自分の特性と、それらが及ぼす生活上の困難について理解を深め、状況に応じて自己の行動や感情調整したり、児童本人の意向を受け止めながら、自分で組み立ててできる行動を増やしていけるよう支援する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (①②③) 初回アセスメントを取り、出来てないところをサポートする計画を立てる。(健康状態の把握と対応) ● (③) 必要に応じて構造化などの適切な支援をする。) ● (④) 活動計画などを中心に自分が主体的になって計画・行動する機会を設ける。(時間管理・資源管理・エネルギー管理・人間関係のマネジメント・目標設定と計画等) 							
	運動・感覚	<p>①姿勢と運動・動作の基本的技能の獲得 (日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得) ②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用 (必要な場合のみ) ③身体の移動能力の獲得 (自力での身体移動や歩行など、日常生活に必要な移動能力) ④保有する感覚の活用 (保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。) ⑤感覚の補助及び代行手段の活用 (眼鏡や補聴器等の各種の補助機器やICTの活用等、他の感覚や機器による代行が的確にできるよう支援) ⑥感覚の特性への対応 (感覚の過敏や鈍麻等の感覚特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●机・椅子を身体に合わせる。 ●基本動作 (身体の移動能力を含む) の獲得。 ●バルシューレを通して、楽しみながら身体的・精神的な発達を支援し、社会性や自信を高める。 ●感覚運動・感覚遊びを活動に取り入れる。 ●感覚の過敏や鈍麻等の感覚特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。 							
	認知・行動	<p>①認知の特性についての理解と対応 (記憶力/注意力/問題解決能力/空間認知能力/言語能力/抽象的思考/感情認知/認知柔軟性) (認知→注意/記憶/理解/判断/計画/遂行機能) ②対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 (感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成) ③行動障害への予防及び対応 (感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ビジョントレーニング ●コグニティブトレーニング ●ソーシャルスキルトレーニング 							

	言語 コミュニケーション	<p>①コミュニケーションの基礎的能力の向上（言語・非言語のコミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付ける） ②言語の受容と表出（話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする） ③言語の形成と活用 ④人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（共同注意の獲得や場面に応じた言動・対応など人との関わり方についての学び等を含めたコミュニケーション能力） ⑤コミュニケーション手段の選択と活用（非言語の方法も含めてコミュニケーションを取れるよう支援） ⑥状況に応じたコミュニケーション（場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援） ⑦読み書き能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ソーシャルスキルトレーニング ●活動計画などを中心に自分が主体的になって計画・行動する機会を設ける。 ●こぼと教材の活用 	
	人間関係 社会性	<p>①アタッチメント(愛着)の形成と安定（基本的な信頼感を持つことができるように、環境や他者や自分に対する安心感・信頼感を育む支援、且つ安心感を与える「安全基地」の役割を果たす。） ②情緒の安定（自身の感情や気持ち、生理的な状態像に関心を持ち、その変化の幅を安定させることに興味を持ち、安定した情緒の下で生活ができるよう支援する。） ③他者との関わり(人間関係)の形成（他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるように支援する。） ④遊びを通じた社会性の発達（模倣行動の支援／感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援／一人遊びから協同遊びへの支援） ⑤自己の理解と行動の調整（自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解し、自己を肯定的に捉えられる機会を通じて、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるように支援する。） ⑥仲間づくりと集団への参加（集団に参加するための手順やルールを理解し、こどもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●（①②）心理的安全性のある居場所作り。（愛情のある、肯定的で、一貫したケアと敏感な対応が、安定したアタッチメントの基盤となる） ●ソーシャルスキルトレーニング／道徳 ●公園遊び／集団活動全般 	
家族支援	保護者のお子様に対する困り事や課題の援助。 個別面談や支援参観によるモニタリング報告や助言。	移行支援	ご家族への情報共有。 必要な場合に有益と思われる地域資源を紹介する。 相談支援事業所及び他の療育施設等との連携を図る。
地域支援・地域連携	個別支援会議の実施。 必要な場合に有益と思われる地域資源を紹介する。 相談支援事業所及び他の療育施設等との連携を図る。	職員の質の向上	日々の支援後の振り返りにて、維持すべき点と改善すべき点を話し合う。 事業所内研修や外部研修を実施する。
主な行事等	季節行事イベントの実施：夏祭り・ハロウィン活動・クリスマス会 その他のイベントの実施：デイキャンプ（野外炊飯）・調理実習（コミュニティーセンター）・外部講師を招いての実験教室や文化的活動 等		